

待機児童144名(1月末 一次調整時点)

学童保育所(公設児童育成クラブ)に入れない!

学童保育は自治体の責務 子どもたちを受け入れる緊急措置を!



公設学童保育所
のびっこ老上

お詫びと改訂

くさつ民報 1210 号の「建設時期不明の橋梁」“全長 2メートル以下”との見出しがありますが「以上」の誤りです。お詫びして改訂させていただきます。

学童保育所(児童育成クラブ)は、親の労働を保障するとともに、子どもたちにとっては放課後を安全・安心に生活できる場でもあり、年々、入所希望が増え続けています。また、政府の進める子ども子育て支援新制度にも位置付けられ、小学校6年生までの保育拡大がすすめられています。

このようななか、2015年度の学童保育入所調整において、公立学童施設に入れない子どもたちが144人にとつては、調査で判明しました。

抱えているご家庭にとつてはたいへんな負担となりかねません。実際の窓口でも公設学童に入れないまま保護者から不安の声が寄せられ、「送迎が困難」を理由に民設保育所への申し込みを保留するご家庭もあります。

学童保育所に入れないかどうかは生活のかかった深刻な問題です。党議員団は空き教室を活用した学童保育など、緊急の対策を強く求めるとともに、公設中心・小学校区内の学童保育所設置を求めて今後ともがんばる決意です。



草津川跡地からも目立ちますが
宿場町の景観は.....

国道沿いに大きな広告物が設置されました。刺激的? な色使いで景観条例との関連はどうなのでしょう? “天然温泉”ということは敷地内を掘削し、取水するのでしょうか?



“巨大広告物”出現

国保税 中低所得者の税率引き下げへ

一般会計からの独自繰入れは廃止を提案

傍聴

草津市 国民健康保険運営協議会

2月5日に開催された第2

回 市国保運営協議会で、9億円を超える余剰金(準備積立金)を活用して国保税の引き下げをおこなう方針が事務局から提案されました。委員から反対の声はなく、正副委員長とも引き下げ方針を推進する発言がありました。

党議員団として、高過ぎる国保税の引き下げを、繰り返して求めてきた立場から、今回の国保税引下げの方向を歓迎しています。一方で、協会けんぽとの負担格差の一部を補てんするため、2010年度から続けている一般会計からの独自の繰入を廃止する方針も了承されましたが、制度間の負担格差は解消しておらず、筋が通らない方針転換です。

今回の協議会では、国保加入者の所得実態や保険料負担の重さなどにはいっさい触れず、余剰金をどのように活用していくのかという、狭い範囲に議論が誘導され、「余剰金が多額にのぼっているから繰り入れの廃止はやむなし」との結論に集約された感があります。議員団は繰り入れの継続を求めてまいります。

<http://kusatu.jcp-web.net/>

久保あきお
草津市青地町 975-9
077-567-8604

くらし・福祉・教育

篠原とも子
草津市矢橋町 7-102
077-532-2012

身近な生活相談所

藤井みえ子
草津市南山田 468-2
077-562-9822